

【ねがいましては】

平成12年6月27日

第126号

KYOWA SCHOOL

「おみやげ」

私の教室では、ドル・セントカードという、ご褒美の金券制度があります。物のためにがんばることは、ある意味では問題視されたりします。が、大人社会では、もっともっと貪欲な「欲」が、入り乱れています。「うそ」「賄賂」「脅し」など、どう考へても子供たちの前には、並べることのできない「品々」が氾濫しています。

そのような社会の中で、彼らは今日も、「5セント」のために努力します。当然、その域をすでに通り超えて、黙々と「自分歩き」をしている子もいます。でも、やはりがんばった代償に、10セントをもらえるのは、うれしいに違いありません。

Aくんは、結構恥ずかしがり屋さん。だから勉強のほうも、ちょっとびりテレ屋さん。つまり、ほんの少しでもわからないと、慎重になり、「わからない」と、質問。石橋をたたいて「一歩・一歩」歩くタイプなのです。

イエーイ！当たって砕けろ！ダメでもともと！どんどんいくぞー！的ではありません。
だから、進歩の度合いもゆっくり。このような精神状態の子は、学校でも慎重派！
では、なぜ慎重派になったのか？色々あるでしょうが、ひとつには、家庭内の影響、おうちの人
が慎重派で、何をやるにも「石橋」なのです。だから自然にそれが彼の中にも宿ります。
もう一つが、間違えが多いことに、まわりの人が「まちがえることは、悪いこと」という概念を
植え込んでしまうこと。

彼らは必死なんです。まちがえることは悪いことですから、悪くないことを追い求めるのは当然です。そこで、「石橋」をたたくのです。

ここで、「石橋」には、2つのタイプがあることに気がつきます。前者は、人生これからもマイペースで、きっと穏やかな、ぬくもりのある生活が待っているのかもしれません。

後者は、歩くことに臆病になっています。歩くことに「自信」がありません。
そこで、宣言！まちがえても、まちがえても・・彼らの中に「一生懸命」なまちがえがあれば、
それは「100点」！ われわれ大人たちは、どう考へて間違えに至ったかを、しっかりと見つけ出して、そして考え方の仕組みをじっくりと軌道修正してあげること。

とかく感情が先走りしがちなお母様方々、「一生懸命考へてのまちがえ」におおいなる「拍手」を贈ってあげて下さい。

そして、「Aくん」・・今日も、「やったー10セント」、おかあさんに「〇〇〇」買っていってあげるの！・・君は、成績でも順位でも追いつくことのできない、すばらしい「心」を手に入れているね！ 「ハイッ、おかあさん！今日のおみやげだよ！」

私のものさしでは、彼は立派な「100点」！「拍手！パチパチパチ」
こんな子達にこそ、これから私たちの社会を任せるべきではないのかな。
成績、成績、成績・・順位・順位・順位・・追いつめられ、行き場所を失った子供たち・・
私は、「Aくん」のおもいやりを・・なのです。ありがとね！

7月の予定

1日（土）

検定試験申し込み締め切り

全国統一模試申し込み締め切り

13（木）～15（土）

検定試験本番・・3級以上は15日です

* 夏の予定・学習科夏季講習は、別紙にてお知らせいたします。

* 「西湖キャンプ」若干名枠が残っています。よろしくね！